



<全校テ-マ> 夢と感動のある町大野を創ろう					
学年	1年生	2年生	3年生		
時間数	70時間	70時間	70時間		
学年テ-マ	<b>大野町を知る</b> 大野町の今を、文化・福祉・環境などから見つめよう。	<b>大野町を観る</b> 大野町を住みよい町にするための方策を考えよう。	<b>大野町を創造する</b> 21世紀向け「夢と感動のある町創り」を提案しよう。		
追究形態	学級一斉	学級内の生活班	個人		
各学年の系統性	「環境」「福祉」「文化・歴史」の3つの単元を「学習のてびき」を利用しながら「学び方」を指導し、大野町に対する興味・関心を広める。	学級ごとのテ-マに基づいて班で協力して調査、研究を重ねていく中で、問題解決の方法を活動を通して身に付くよう指導する。	個人テ-マに基づいて、自分なりに問題解決的に追究し、まとめ、提案できるように指導する。		
生徒の意識の流れ	生活経験や知識	<1年生の『星章』> ・今、こんなことが問題となっているんだ ・こんな研究がされているんだ ・こんなことを調べてみたいんだ ・こんな追究方法があるんだ	<2年生の『星章』> ・こうやって課題は広がっていくんだ ・こうやって調べてたり、追究したりすると見えてくるんだ ・仲間の意見を聴いていると世界が広がってきた	<3年生の『星章』> ・追究すれば新たな課題が見えてきたもった知りたくなった ・追究していくと知識や技能が必要なのわかってきた ・実際に試したい、聞いてもらいたい	<将来に向けて> ・これからも、もっと調べていきたい! ・自分の興味のあることを生かしていこう! ・自分の手で創りあげてみよう!
評価方法	自己評価、相互評価、教師評価、ポートフォリオ評価、自由記述、アンケート調査				

	1学期	夏休み	2学期, 3学期
主な活動	ガイダンスとテ-マ決定 計画の立案 調査活動	調査活動	中間交流会 調査活動 まとめ 交流会(学級・校) 振り返り

関連する教育活動	地域・家庭との連携
<教科> 基礎的な知識・技能の習得、課題解決学習の展開、自分の意見を効果的に伝える表現方法の習得 <道徳> 多くの人の生き方、考え方への共感 <特活> 仲間との関わりや自己の責任	地域人材、地域の施設、教育機関との連携、家庭・PTAとの連携 学校だより、学年通信、公開授業等による啓発